

実験動物の技術と応用 入門編増刷（第九刷）にあたっての修正点

修正箇所	修正前（第八刷まで）	修正後（第九刷）
p. 6 「2. 動物保護運動と動物実験擁護」の項、下から4行目	…、また、米国の <u>AAALAC</u> (<u>Association for Assessment and Accreditation of Laboratory Animal Care</u>) …	…、また、米国の <u>AAALAC インターナショナル</u> (<u>Association for Assessment and Accreditation of Laboratory Animal Care International</u>) …
p. 32 「2. 作出方法」の項、5～7行目	1980年にJohn Gordonがマウスにラットの成長ホルモン遺伝子DNAを導入し、体重が1.5倍のジャイアントマウスを作製した。これが最初のトランスジェニックマウスである。	1980年に入るとトランスジェニックマウスが作製されるようになり、1982年にはR.L. Brinsterらによって、マウスにラットの成長ホルモン遺伝子DNAを導入し、体重が1.5倍のジャイアントマウスが作製された。
p. 35 「2. 雄の精子発育」の項、1～2行目	…、各精細管の断面に、 <u>精原細胞</u> から、 <u>精祖細胞</u> 、さらに…	…、各精細管の断面に、 <u>精祖細胞</u> から、 <u>精母細胞</u> 、さらに…
p. 77 「3. 外科用器具・器材」の項、下から6行目	ピンセット・ ^{せっし} <u>摂子</u> ：	ピンセット・ ^{せっし} <u>鑷子</u> ：
p. 149 「4. 個体識別」の項、4行目	…、 <u>（社）日本種豚登録協会</u> の耳刻基準を…	…、 <u>（一社）日本養豚協会</u> の耳刻基準を…
p. 149 右欄、図8-3の出典先	「 <u>実験動物の基礎と技術 II 各論</u> 」、 <u>（社）日本実験動物協会</u> 編、p. 170、丸善、1989年	<u>（一社）日本養豚協会 一腹記録規程</u>
p. 157 右欄、感染症法の欄、2行目	…申請（ <u>環境省</u> および <u>厚労省</u> ） …	…申請（ <u>厚労省</u> および <u>農水省</u> ） …
p. 175 右欄、ホメオチック遺伝子の欄、1行目	<u>体区分の付属構造</u> を決める遺伝子…	<u>体節構造</u> を決める遺伝子…

実験動物の技術と応用 入門編（第九刷）の正誤表

下記の通り訂正いたします。

訂正箇所	誤	正
p. 66 「(7)E0 ガス滅菌機」 の項、上から1行目	「～として、「 <u>特定化学物質等 障害予防規則</u> 」特別管理物質と して規制～」	「～として、「 <u>特定化学物質障 害予防規則</u> 」特別管理物質とし て規制～」
p. 131 右欄、「 <u>ケージのサイ ズ</u> 」の項	米国 ILAR の基準では、ビーグル のような体重 15kg 以下のイヌの 場合、1 匹あたりの床面積は <u>0.74m²以上で、高さは 82cm 以上 とするとしている。すなわち、 82(間口)×90(奥行)×82(高 さ)cm 以上の大きさのケージが求 められる時代になってきたとい えよう。</u>	米国 ILAR の基準（第 8 版）で は、ビーグルのような体重 15kg <u>を下回るイヌの場合、1 匹あた りの床面積は 0.74m²以上で、高 さはイヌが肢を床に置いて楽に 直立できるよう、十分な高さが なければならぬとされてい る。</u>
p. 139 「3 飼育管理、1. ケ ージおよび床敷」の 項、5～7 行目	<u>ILAR の記載基準</u> では、1 頭あた り、床面積は体重 4kg 以下が <u>0.27m²、4kg を超えるものは 0.36m²以上で、高さはそれぞれ 61cm とするとされている。</u>	米国 ILAR の基準（第 8 版）で は、1 頭あたり、床面積は体重 4kg 以下が <u>0.28m²、4kg を超え るものは 0.37m²以上で、高さは それぞれ 60.8cm と推奨してい る。</u>
p. 168 右欄、「人工受精」の 項目名	人工 <u>受</u> 精	人工 <u>授</u> 精
p. 173 「(2)アフリカツメガ エル」の項、下から 2 行目	「 <u>胸線</u> を除去する～」	「 <u>胸腺</u> を除去する～」
p. 175 「(1)ショウジョウバ エ」の項、上から 5 行 目	「～、さらに大型の唾液 <u>線</u> 染色 体を持っている～」	「～、さらに大型の唾液 <u>腺</u> 染色 体を持っている～」

加えて、p. 123、5-1 を下記の通り修正します。
(修正前)

表 5-1 ケージサイズの基準					
96USA			EC(EU)		
体重 (kg)	面積 (cm ²)	高さ (cm)	体重 (kg) (単飼)	面積 (cm ²)	高さ (cm)
<2.0	1350	35.6	1	1400	30
			2	2000	30
2.0-4.0	2700	35.6	3	2500	35
			4	3000	40
4.0-5.4	3600	35.6	5	3600	40
>5.4	4500	35.6			

(修正後)

5-1 ケージサイズの基準		
ILAR (USA) の基準 (第 8 版)		
体重 (kg)	面積 (m ²)	高さ (cm)
<2	0.14	40.5
2<4	0.28	40.5
4<5.4	0.37	40.5
>5.4	≧0.46	40.5
EC (EU) の基準 (2010)		
体重 (kg)	面積 (cm ²)	高さ (cm)
<3	3500	45
3～5	4200	45
>5	5400	60